

村井珠夏「愛媛県」

# 憧れの存在

「いっぱい努力して造船業に就きたい」

八年前の冬、将来の夢をステージで発表した。寒さと緊張で震えていたけど堂々と  
言った。

造船に興味を持ったのは母の影響だ。幼い頃からずっと溶接をしている母に憧れて  
いた。母に初めて夢を相談した時、女性は少ないし安全とは言い難い仕事だと教  
えてくれた。そして時間はまだまだあるし、ゆっくり考えろと言われた。どうやら母は私  
が本気で言っていることに気付いていなかったようだ。

高校は造船の知識や技術が身に付けられる工業高校に入学した。専門的なことを  
学んだり実習をしたりするのはとても楽しい。ある日、工場見学で実際に現場で活躍  
している職人さんを見た。やりがいを感じる瞬間を聞いてみると進水式で船が初めて  
海に浮かぶ瞬間だと言っていた。私もこの感情を味わいたいと思い造船に対する思  
いがさらに燃えた。

夢に向かって頑張る高校生としていくつかの取材を受けた。頑張ったことは勉強と  
部活と資格取得だ。資格取得は独学のため毎日深夜まで勉強して無事一発合格で  
きた。夢を実現させるためにどんな事にも全力を注ぐと決めている。インタビューで  
は、造船に興味を持ったきっかけと母の好きな所を聞かれた。五人のスタッフの後ろ  
で母が見守る中、少し照れくさいけど母の自慢をした。チラリと母の方に視線を遣る  
と袖を顔に当てていてよく顔が見えなかった。全ての質問に答え終わり、次は母の番  
だ。私の夢についてどう思うかを聞かれていた。母は「本気でこの仕事をしたいと言っ  
ていて驚いたけど、頑張っている姿を見て応援したくなった」と答えた。初めて母の思  
いを知った私はこれからも努力し続けて母を越す勢いで頑張ろうと、大粒の少し温か  
い涙を拭いながら決心した。

母の子供に生まれてこられたこの奇跡。そして、女手一つでここまで私を育ててくれ  
た母には感謝しかない。お母さん、いつもありがとう。

